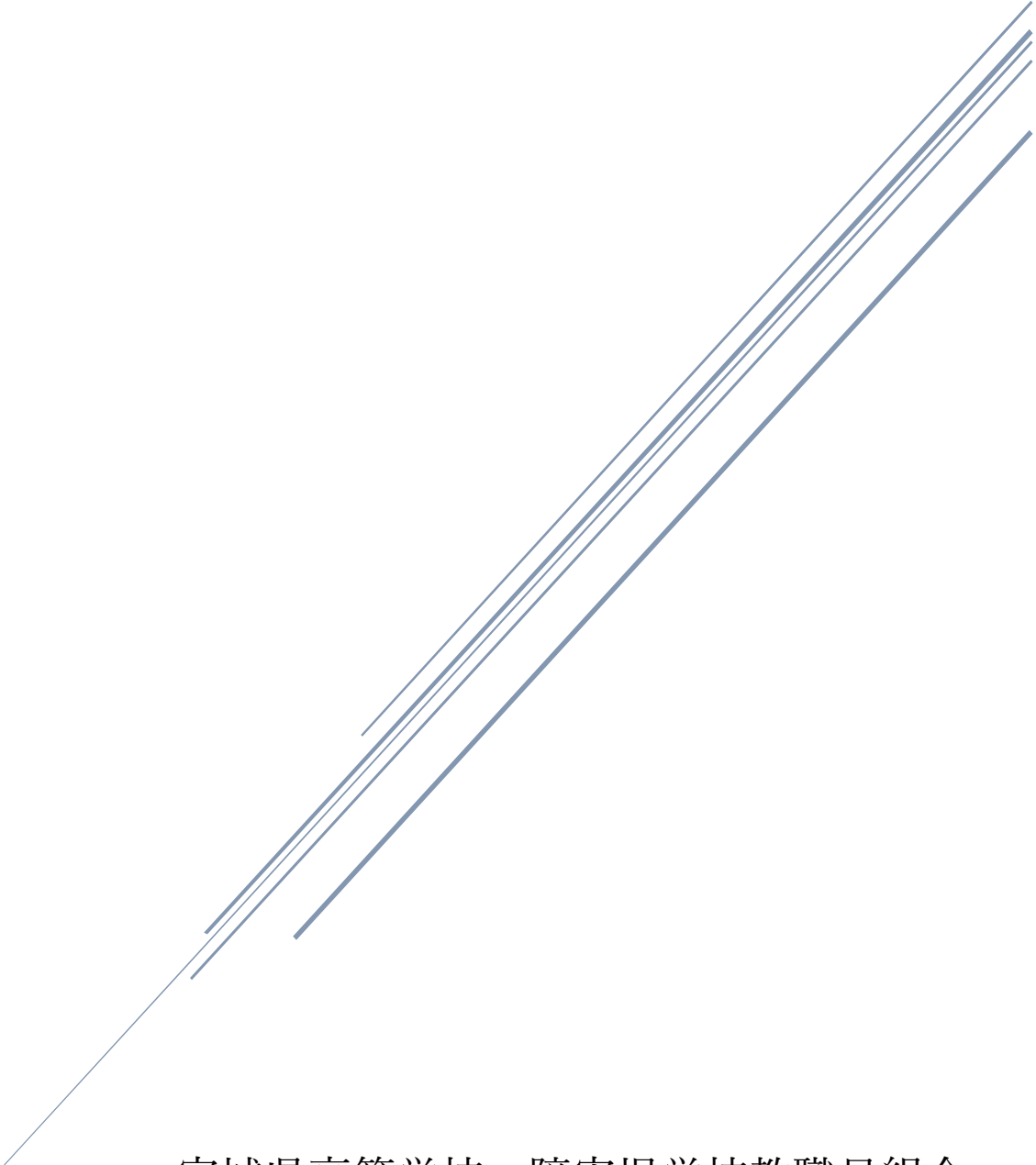


# コロナ禍での養護教諭の勤務 に関するアンケート

2020年9月～10月宮城県内高等学校・特別支援学校計103校の養護教諭を対象に実施



宮城県高等学校・障害児学校教職員組合  
養護教員部

## コロナ禍での養護教諭の勤務に関するアンケート（宮城高教組養護教員部）

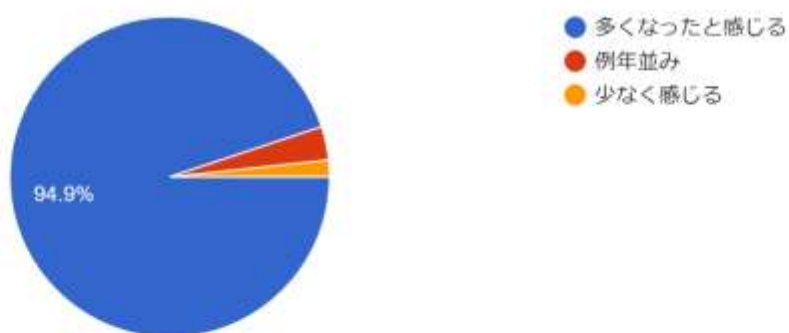
集計結果（2020年9月～10月宮城県内103校の養護教諭を対象に実施）

回答数（10/26現在）57校61人。石巻支援、松山高、小松島支援、登米高、石巻商業、仙台東高、佐沼高校、柴田農林川崎校、石巻市桜坂高、岩ヶ崎高校、仙台三桜高、聴覚支援小牛田校、宮城広瀬高、小牛田高等学園、鹿島台商業、蔵王高、船岡支援、志津川高、岩沼高等学園、田尻さくら高、富谷高、気仙沼高定時制、石巻工業高、仙台大志高、西多賀支援、石巻好文館高、名取高、金成支援、仙台高校、宮城水産高、仙台一高、石巻北高、涌谷高、伊具高、拓桃支援、古川支援、山元支援、加美農業高校、松島高校、仙台西高、古川黎明高、大河原商業、宮城県工高、利府高、名取支援、光明支援、宮城野高、石巻西高、白石高七ヶ宿校、仙台商高、登米総合産業高、村田高、仙台工高定時制、岩出山高、仙台南高、本吉響高

### I 執務について

例年より執務内容や負担が多くなったと感じていますか

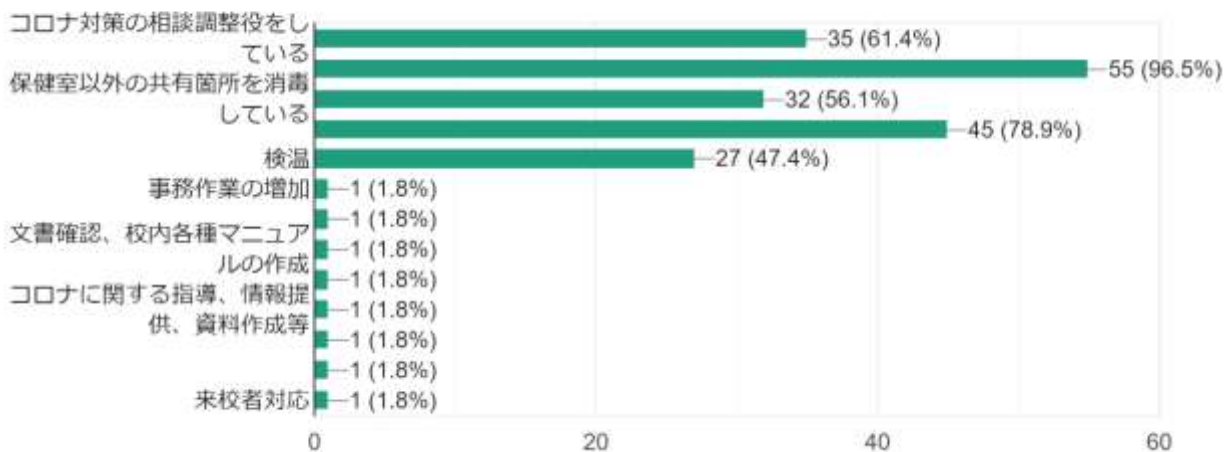
59件の回答



多くなったと感じている方におききします。どのような場面で負担が多くなったと感じますか。（以下は複数回答可です）

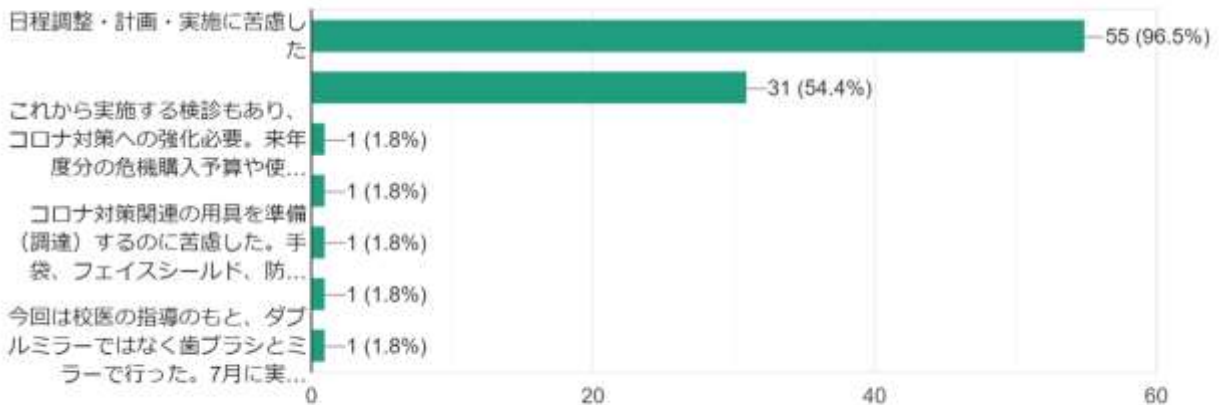
〈コロナウイルス関連について〉

57件の回答



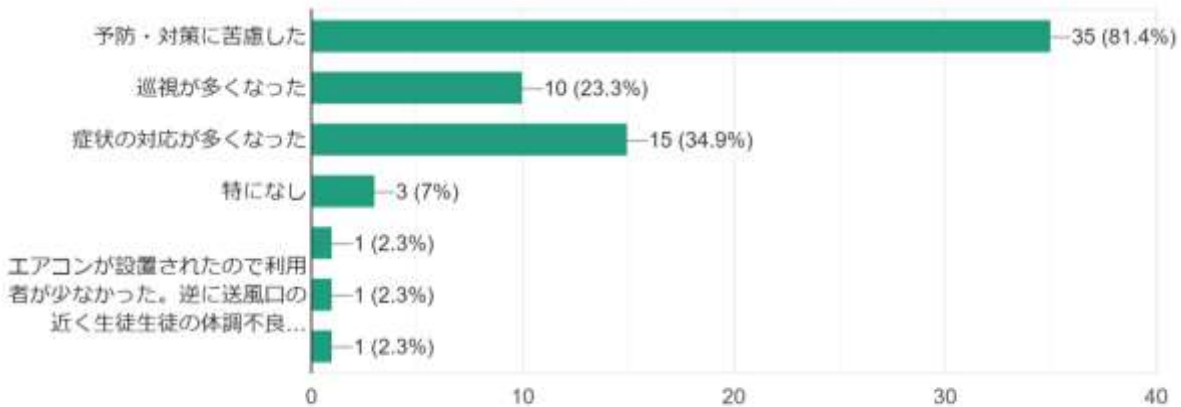
### 〈健康診断について〉

57件の回答



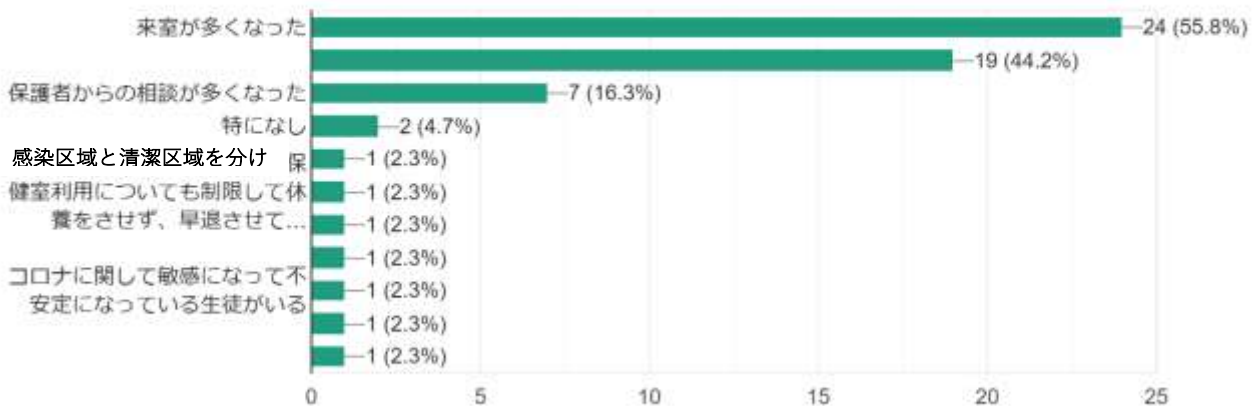
### 〈熱中症について〉

43件の回答



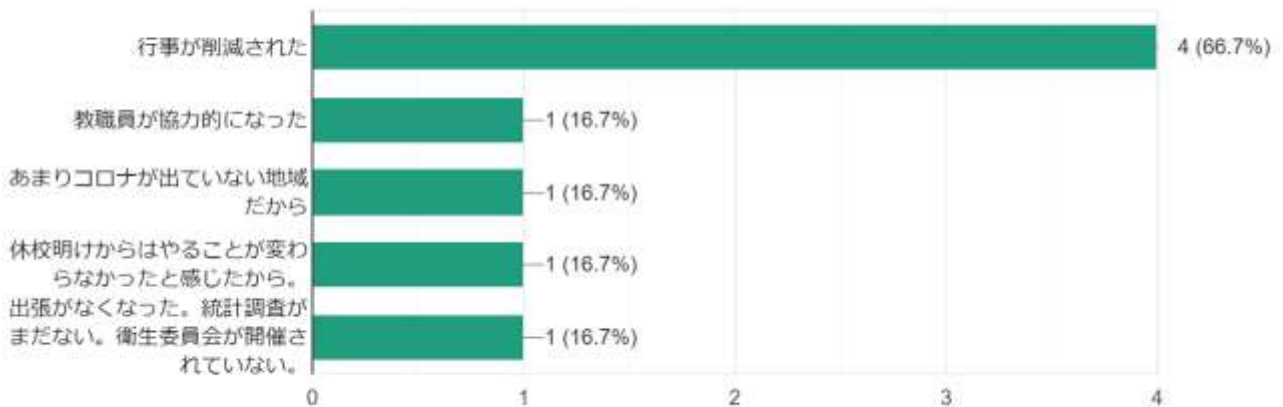
### 〈生徒の様子について〉

43件の回答



例年並みあるいは少ないと感じている方におききます。その理由を一つ選んでください。

6件の回答



皆さんに教職員の連携についておききます。次から一つ選んでください。

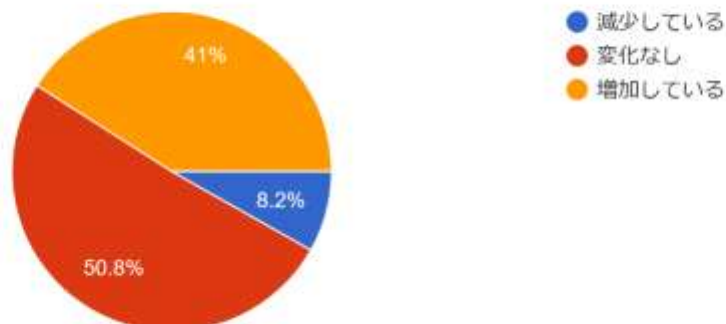
60件の回答



## II 保健室来室について

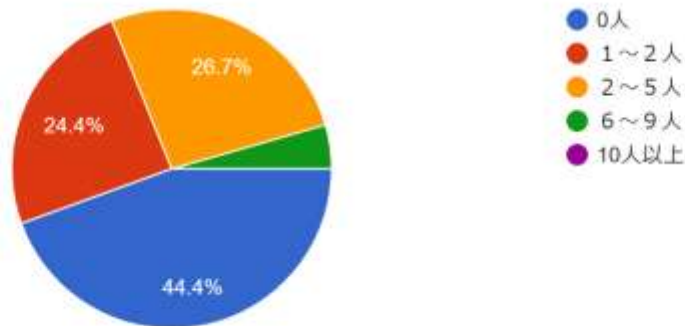
保健室来室者の1日平均は昨年と比較して増減に変化はありますか

61件の回答



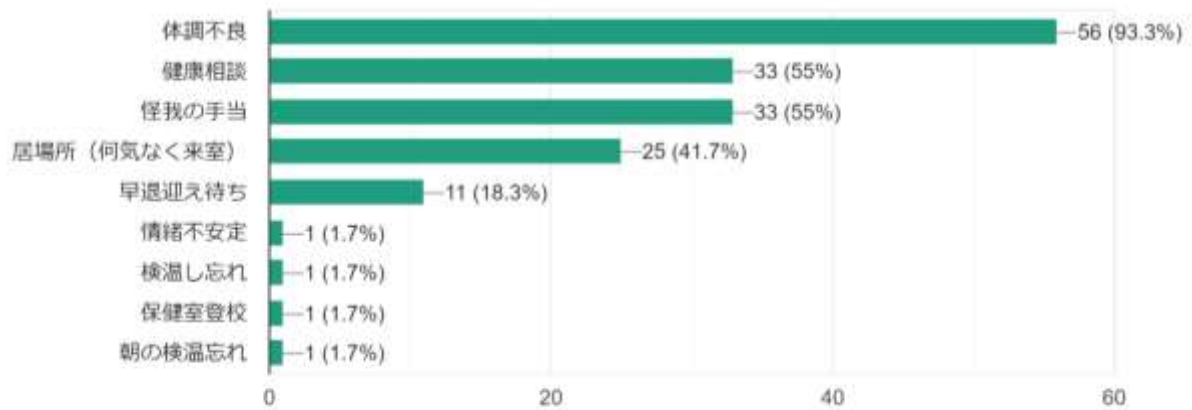
### 1日あたりどれくらい増加していますか

45件の回答



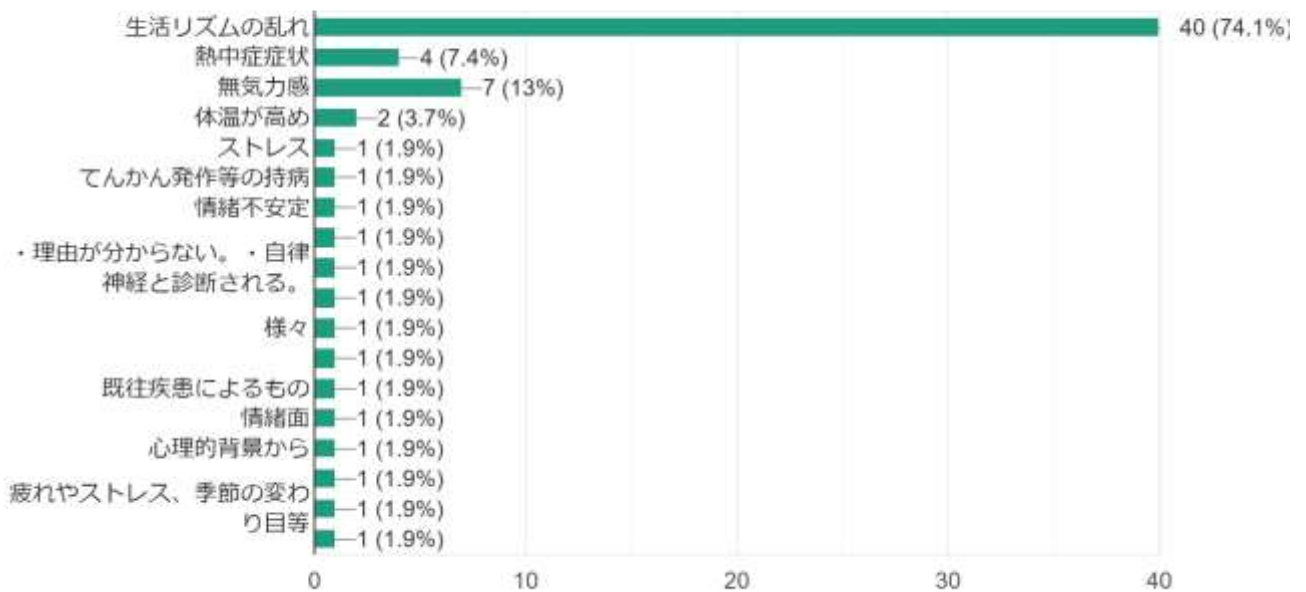
### 来室理由の主なものは何ですか（上位3つ）

60件の回答



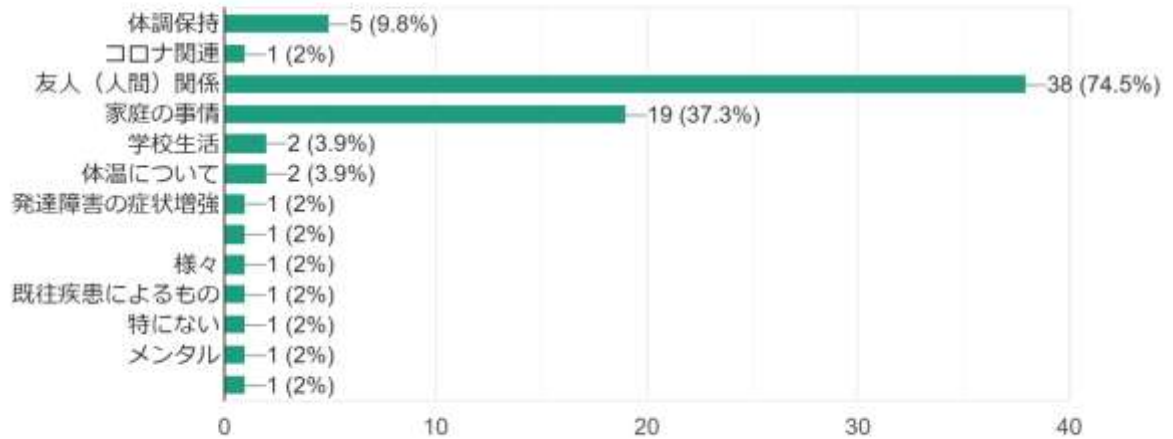
### 体調不良の主な理由は何ですか

54件の回答



### 健康相談の主な理由は何ですか

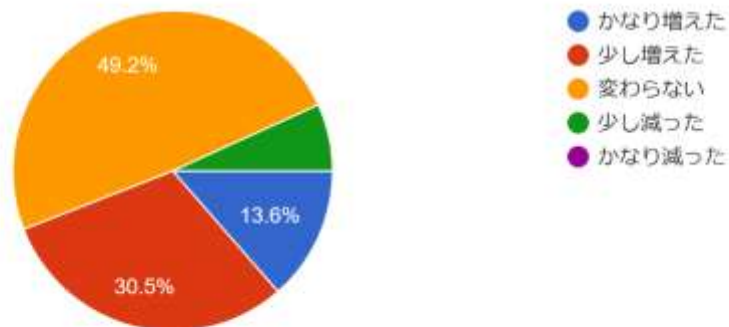
51件の回答



### Ⅲ 多忙化について

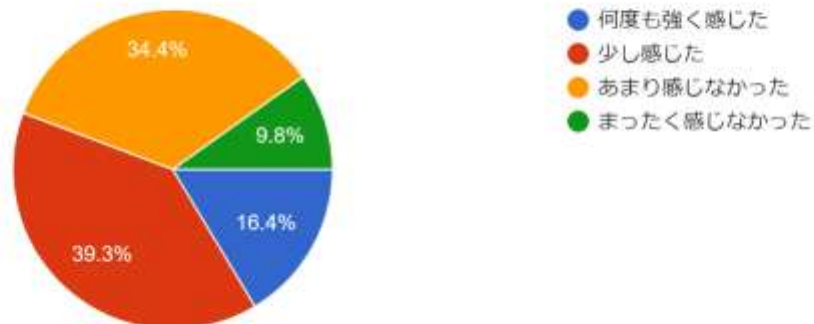
平日の時間外勤務や持ち帰り仕事、土日の出勤はどうか（昨年度の平均的勤務状況と比較して）

59件の回答



学校再開から9月までの間に「体がもたないかも」と感じたことはありますか

61件の回答



## 自由記述

- ・先日健康診断が全て終わったので、少しほっとしたところです。
- ・生徒の疲労感や負担感が想像以上で、不適応傾向の生徒も増えている。生徒一人ひとりの対応に時間がかかるケースが増え継続的な対応も多く苦慮している。そんな中、来年度は複数配置はなくなると管理職から言われている。各校大変だと思います。コロナも落ち着かない時期に複数配置を止める必要があるのか疑問です。不安も大きいです。今後も複数配置は継続して欲しい。
- ・5月、6月は精神的につらい日が多かった。
- ・アルコールが足りない中、手洗いがいちばん重要と伝えてもアルコールを設置してほしい、使いたいという声が多く、理解してもらえよう伝えるのが何度も大変だった。
- ・3月～4月、5月、6月あたりの対応を模索中の際に、危機管理委員会で、皆さんで考えて助かった部分と、先生方からアルコール消毒がほしいということ、でも欠品である説明、妊娠された先生が感染を過度に心配され（心配される気持ちは分かります）、風邪（咳くらい）で登校させてよいかなど、手探りの中で、強くストレスを感じました。"
- ・校長から来年度は複数配置ではなくなると早々に言われてしまい、多忙化している現状で来年度1人で仕事をすることに不安を感じる。
- ・難しいのはコロナどうこうより、人間関係や日頃の協力し合える信頼関係等大きく影響すると思っています。
- ・コロナ対応と、熱中症対策とほんとに連日走り回ってましたが、後者は落ち着き一安心。まずは、自分自身の体調管理に留意しつつですね。調査、大変お疲れ様です。よろしく願い申し上げます。
- ・正解が見えない対応に悩むばかりです
- ・東京や岡山等、他県の友人（養護教諭）との情報交換や圏内の養護教諭仲間からの情報は大変助けられた
- ・現在、県内でもコロナ感染者が増加しているが、教員、生徒の意識は3月～5月頃よりも低下している。コロナ対策でも二極化（教員、生徒、保護者）しており、共通理解を図りながら進めていく難しさを感じる。
- ・昨年の1日平均のデータがないので比較できませんが、月の来室者数を見ると増えているような気がします。
- ・生徒が登校するようになってからの6月、7月をどう乗り切ろうか不安だった。
- ・①予算の見通しが立たなかった時期（5～6月頃）
- ・②消毒薬等が手に入らなかった時期（同上）"
- ・例年4月5月に不適応を訴えていたものが後ろに来た感じがする。
- ・長い期間家に籠もっていた分、考えなくてよいことを考えたりして精神の不調につながっている。
- ・養教の仕事は増える一方だが、まわりは普通に学校生活を回している。消毒についても協力者は少数。
- ・土日にコロナのために勤務することはないが、退勤時間は遅くなっている。
- ・健康診断実施について配慮事項が多すぎて準備にかかる時間が多すぎて苦労した。"
- ・健康診断の日程が分散したため、余裕を持って検診の準備ができた。今まで出来なかった、「年度始めの生徒に丁寧に関わる」ことができた。検診の事務処理にかけていた時間を生徒対応にかけられたことは、唯一良かったことかもしれない。

- ・4月に高校から異動となり昨年と比べることができません。回答できませんのでよろしくお願い致します。一部のみの回答です。
- ・1 健診器具を滅菌するために、近隣校に数回行って、滅菌をお願いした。
- ・2 寝具の使用も一人1寝具とし、洗濯できる物は洗濯。できないものはアルコール消毒をしている。ここにも手間がかかっている。
- ・身体症状、精神症状の悪化、増強が多く、一人あたりの対応時間が増加し、職員との情報交換の時間も増加している。
- ・帰りはあまり遅くなれないので残った分は持ち帰ったり、朝早く出て仕事をしている。時間に追われ慌ただしく仕事をしている。
- ・現場の声を届けていただくことに感謝しております。
- ・器具の消毒（歯鏡や耳鏡等）、オートクレーブでの滅菌の指示があったが、オートクレーブもなく、感染のリスクや安全性、現場の多忙化を軽減させるためにも、市教委のように外部委託にしてほしい。
- ・スポ健より、歯科のアンケートがあり、その旨も記入したが調査をするだけで何の回答や解決策もなかった。コロナによる出欠停止の基準も曖昧で、スポ健に問合せすると配慮もない心ない回答に同じ養護教諭として悲しくなり「現場を見て！」「同じ養護教諭ですか？」と問いただしたくなりました。
- ・コロナ対応の負担が大きい。体調不良者の対応や登校の基準など養護教諭が考え、周知しなければならない部分は仕方がないが、その他の部分でも「コロナだから」ということで仕事が養護教諭に回ってくる仕事も多い。役割分担をしっかりと行い対応したいと感じている。